

番号	64	改修記念碑		
所在地	伊万里市黒川町福田 浦潟防波堤			
災害別	昭和２５年（１９５０）キシア台風、昭和２６年（１９５１）ルース台風 暴風高浪			
目的別	記念碑	建立年	昭和３１年５月	
特記事項				



黒川町福田にある浦潟防波堤の災害復旧工事の記念碑。「黒川町誌」(平成元年12月1日発行)によると、もともとの防波堤は数十メートルの旧式の堤防であったが、台風により決潰。その改修を黒川漁業会を通じて、数度県に陳情し、ようやく堤防の復旧工事が完成したとのこと。堤防着工当時は黒川村であり、漁民数十戸の小さな漁村に、これだけの大きな復旧工事を

行うための国庫補助の許可を受けるまでに区長は東奔西走し、地元民の熱意と村当局及び漁業会役員の苦労は並大抵ではなかったと記載されている。防波堤の内側には、今日数多くのプレジャーボートが係留されている。



(正面)「昭和二十五年九月襲来のキシア台風により先端四十米被災佐賀県水産課の援助に

より国庫負担の認承を得昭和二十六年三月復旧工事に着手す 偶々翌年十月ルース台風襲来根元四十米被災 重ねて国庫負担の認承を受け引続き事業継続 満四年の歳月を経昭和三十年三月完成す」(右面)「世話人(氏名略)」(背面)「昭和三十一年五月建立 工事施工業者氏名 石工氏名(略)」(左面)「施行責任者 黒川村長 伊万里市長 設計者 現場責任者 漁業協同組合長(氏名略)」



国土地理院電子国土 Web